

平和の歌「加速」練習始動



「ぞうれっしゃ」を引っ張る荒木紀理子さん(中央)＝川口市

川口ぞうれっしゃ合唱団

「NO WAR(戦争はいや)」――。平和への願いを歌い継いで四半世紀。川口市の「川口ぞうれっしゃ合唱団」が、13回目となる来年の演奏会に向けて走り出した。安全保障関連法の成立で不安が膨らんだ戦後70年の節目。代表の荒木紀理子さん(60)は「原点に立ち戻り、一層強い意欲で取り組みたい」と話す。

「ぞうれっしゃ」が走った感じが込められている。現代の民話、ともいわれるが、「(安保法の成立で)歴史的事実から、もしかすると起こるかもしれない」ととへど大きくかじを切った」と荒木さん。これからも「過去の歴史」のままでも、戦禍にまみれる時代が再びやってくることのないようにと、必死に願う。世代を超えた「子どもたちの幸せと平和を願う合唱団」は家族連れも多いが、大人1人の参加も目立ってきた。今回の事前登録者は100人を超えた。荒木さんは合唱団が、平和を願う個々の意思をすくい取り、緩くつながり合える車両になれば、とも考えている。演奏会は来年6月19日、川口市の川口総合文化センター・リリアで。「本番まで、客車を増やしながらしすつ速度を上げて走ります」。練習は月2回。参加希望は、電話(夜間のみ)とファクス(048・2668・9255)またはメール(kawaguchizou21@s8.dion.ne.jp)。(伊藤典俊)

膨らむ不安に強まる願い

「ぞうれっしゃ」が走った感じが込められている。現代の民話、ともいわれるが、「(安保法の成立で)歴史的事実から、もしかすると起こるかもしれない」ととへど大きくかじを切った」と荒木さん。これからも「過去の歴史」のままでも、戦禍にまみれる時代が再びやってくることのないようにと、必死に願う。世代を超えた「子どもたちの幸せと平和を願う合唱団」は家族連れも多いが、大人1人の参加も目立ってきた。今回の事前登録者は100人を超えた。荒木さんは合唱団が、平和を願う個々の意思をすくい取り、緩くつながり合える車両になれば、とも考えている。演奏会は来年6月19日、川口市の川口総合文化センター・リリアで。「本番まで、客車を増やしながらしすつ速度を上げて走ります」。練習は月2回。参加希望は、電話(夜間のみ)とファクス(048・2668・9255)またはメール(kawaguchizou21@s8.dion.ne.jp)。(伊藤典俊)